

アフタースクール便り

2019. 6. 10 vol. 20

子どもたちの豊かな学びのために

2019年度はアフタースクールの保険加入者数が160人。小学部の全生徒の36%が申し込んでいます。月の利用者数はスポット含め約100人。日々60～70人前後の児童が利用しています。

今の社会は「挑戦すること」よりも「失敗しないこと」「うまくやること」を、こどもに求めることが多いように思います。大人は失敗しないよう、ぶつからないようについつい手を出し過ぎてしまったりしますがそこはグッとこらえて子どもの新たな挑戦を応援し、そっと支えることも大切な役割のひとつです。

それが保障される場がアフタースクール・・・课后加油站。いろいろな人や学年の中で自分との違いを認める機会にもなります。

《お知らせ》

课后加油站(アフタースクール)は、かねてから保護者より「学校で宿題を終わらせて帰ってきて欲しい!!」との要望にお応えて2019年度6月より、小学4年生～小学6年生を対象に放課後及び、部活動後の宿題をする環境づくりの為の場を開設しました。

高学年が自ら宿題に集中する姿は低学年の良いお手本になっています。

- ・開設時間:月曜日から金曜日の放課後～18:30
- ・開設場所:アフタースクール実施教室
- ・利用料は曜日、日数に関係なく一律 ¥5000

5/18(土) ファミリースクールはみんなで「手巻き寿司」
おいしい笑顔がいっぱいでした!!
ご参加頂いた皆様ありがとうございました!!



4月には緊張と期待で胸いっぱいだった1年生も今では自ら宿題をする習慣が出来て、すっかり自分のペースで放課後の時間を過ごしています。

小1～小5の放課後、授業が終わる時間はばらばらですが、どの学年もまずは宿題をしてからその日の共通活動に参加します。共通活動の時間は子どもたちの人間力を育てるのにはとても重要な時間です。5月には「作って遊ぼう」「水墨画ワークショップ」「創造力スタンダード」「数踏みゲーム」「ドレミ音を楽しもう」「ものあつめゲーム」「世界のこどもたち」「珠心算」「水墨画ワークショップ」「武術拳操」「Let's Dance!!」「チームで暗記」「ゼスチュア」等など・・・学年を越えてこういうことが出来るのも今の内。みんなで楽しく刺激あっています。

クラスでは見えない表情が見えることも・・・体験の数だけ知恵がつくということですね。



すっかり恒例になったお誕生日インタビュー！！今日の主役は わ・た・しです！！



韓老師の水墨画ワークショップ
初回は自分の名前の一文字

李老師の珠心算
初めてながら一年生も真剣そのもの



プロダンサーであり保育士である柿沢先生による
Let's Dance!! はずかし〜と言いながらの決めポーズ

10人少人数のローテーションで
スマートペンを使つての Enjoy English



武術拳操
3年目になるので、
上級生がお手本を
示すシーンも



4/20(土) 2015年の開設以来、初めての保護者会を開きました。以下のような励みになる。貴重なご意見を頂戴しました。

1. 小5男子のお母さんより

「アフタースクールを選んだ理由は、両親ともフルタイムで働いているため。説明会の時にはまだアフターは無かったので他のところで探していた。2月に新しく開設すると聞き、費用も安く、移動無しの観点からここが一番良いと思った。」

「息子は家に帰って、高学年のお兄さんたちと遊んだ色々な事を話してくれた時の楽しそうな顔を見て安心した」

「長期間休みの時、体力の有り余っている息子を色々なところに連れて行ってもらって良かった」

「アフターの先生たちが、息子の日々のことを観察して教えてくれたことで、親として普段気づいていない細かいところを知ることができた」「特に二年生のころ、反抗期というか悪くなりそうなところを先生たちが気づいてくれ、止めてくれて、親とうまく連携できて軌道修正できたことが良かった」

2. 小2女子のお父さんより

「宿題のチェックは助かった」

「学校生活では体験できないところに出かけたり、水墨画など中国の伝統文化が体験できてよかった」

「同年齢・異年齢との付き合いは将来的に大きな財産になると思う」

「友達との間でトラブルを解決していくうちに人間力スキルも育める。」

3. 小3女子のお母さんより

「アフタースクールを選んだ一つの理由として、説明会の時の先生の生き生きした表情が気になり、ここにしたらきっと楽しいだろうと確信した」

「アフタースクールの子ども同士の関係が濃い」

「キッズクッキングを通して知らないうちに包丁の使い方が上手になった」

4. 小3男子(転校生)のお母さんより

「転校したばかりの時は、今まで通っていた地元のアフタースクールに通わせていたが、その分中華学校に馴染めず登校拒否になっていた。担任の先生にアフタースクールを勧められた」

「アフタースクールに参加して、親の心配をよそに友達もすぐに出来て、本人の表情、顔色がどんどん良くなった」「学校にも中国語にも自然と馴染め、子供の居場所となり良かった」

5. 小3男子のお母さんより

「仕事をしているので何処かに預けることは必須だった。低学年のうちはよく遊びよく学ぶがモットーだったので、安全面と活動の豊富さからここを選んだ」

「アフタースクールに参加することで、学校生活になじむことが速くなった」

「長期休みでは親の代わりに外に連れて行って助かった。おかげで土曜日日曜日ママたちが休みの日に何処かに連れて行ってとごねることもなく親も良い具合に休むことが出来て助かった」「試験前のアフターの特訓(100問問題)が良かった」

6. 小3女子(転校生)のお父さんより

「中国文化に触れあうことができて、それまで中国にまったく興味を示さなかった娘が家で『西遊記』等の話が出来て話題が増えた」

7. 小4女子のお母さんより

「家庭では日本語教育なので、学校の時間以外に中国語のネイティブスピーカーと中国語で話せて、中国語能力が上達した」

「アフタースクールノートで先生とのやり取りの中で、学校内の普段の様子とも違うもう一面を知ることができた」

「定期的でなくても、スポット利用もあって便利でお勧めしたい」



8. 小5男子のお母さんより

「3年間アフターで色々な子と遊び、かかわれて楽しそうでした」

「妹が参加してから、兄の事を家で報告してくれて、普段見えない息子を知ることができた」

9. 小6女子のお母さんより

「一人っ子なので、アフターに入って遊び相手が増えた」

「定期的に参加することで(長期休みのみ)他の子供たちの変化を見るのが楽しいと言っている」

「家での話が豊富になった」

「アフターで自分より小さい子たちと遊んでいるうちに、クラスでたまったストレスが消化されているようだ」

保護者の皆様へご協力をお願い

1. 欠席や時間変更がある場合は必ずアフタースクール直通電話、もしくはアフタースクールメール、またはアフタースクールノートにて連絡をください。(メールは利用日当日 7:30 まで有効です)

・直通電話：045-641-0354 ・メールアドレス→→→ after@yycs.jp

2. 毎日の出欠を確認するためアフタースクールノートにスタンプを押しています。

ご家庭でもご確認してください

3. ・アフタースクール日頃の写真は学校のHPへアクセス、保護者ページからログインし「课后加油站」からご覧いただけます。

